

平成25年度 中国地方整備局関係予算概要(鳥取県内)

鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所
出雲河川事務所
三次河川国道事務所

【問い合わせ先】

鳥取河川国道事務所	(河川)副所長	かわもと 川本 洋次郎	Tel 0857-22-8435(代)
	(道路)副所長	いのうえ 井上 和久	
倉吉河川国道事務所	(河川)副所長	よこばやし 横林 直樹	Tel 0858-26-6221(代)
	(道路)副所長	じんぐう 神宮 祥司	
日野川河川事務所	(技術)副所長	こみなみ 古南 弘史	Tel 0859-27-5484(代)
境港湾・空港整備事務所	(技術)副所長	ささき 佐々木 高雄	Tel 0859-42-3145(代)
出雲河川事務所	(技術)副所長	さとう 佐藤 敦司	Tel 0853-21-1850(代)
三次河川国道事務所	(技術)副所長	しんたく 新宅 清人	Tel 0824-63-4121(代)

平成25年度事業費（事務所別）

（単位：百万円）

事業部門		平成25年度 事業費（当初）							24年度 （当初）
		鳥取	倉吉	日野川	境	出雲	三次	合計	
河川事業	改修	381	496	233		3,932		5,042	2,832
	環境整備	0	0	0		592		592	689
	応急対策	40	0	0		121		161	128
	小計	421	496	233		4,645		5,795	3,649
砂防事業	砂防		398	475				873	852
	小計		398	475				873	852
海岸事業	海岸			561				561	460
	小計			561				561	460
開河 発川 事業 総合	堰堤改良			0				0	278
	小計			0				0	278
道路事業	改築	13,850	2,992				25	16,867	16,125
	交通安全	672	255				0	927	612
	電線共同溝	0	0				0	0	0
	小計	14,522	3,247				25	17,794	16,737
港湾事業	鳥取港				478			478	350
	境港				1,514			1,514	350
	小計				1,992			1,992	700
総計（事務所計）		14,943	4,141	1,268	1,992	4,645	25	27,015	22,676

（注意）

- （1）計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。
- （2）境港湾・空港整備事務所は鳥取県関連分のみである。
- （3）出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県を含む。
- （4）事業費には、調査費、業務取扱費・災害復旧費を含まない。
- （5）上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、総合流域防災対策事業費、交安Ⅱ種、維持管理費等がある。

平成25年度事業の概要

鳥取河川国道事務所

1. 河川事業

1) 千代川一般河川改修事業(稲常^{いなつね}箇所) 【資料編 鳥取－1】

鳥取市河原町稲常地先において、堤防の安定化と断面の確保を行うため、築堤及び護岸を実施します。

平成25年度は川裏側の築堤工事を実施し、事業の完了を目指します。

2) 千代川一般河川改修事業(古海^{ふるみ}箇所) 【資料編 鳥取－2】

鳥取市古海地先において、土砂堆積等により流下能力が不足しています。

平成25年度は、河床掘削を実施し、流下能力対策事業を推進します。

3) 千代川河川工作物関連応急対策事業 【資料編 鳥取－3】

千代川直轄管理区間において、老朽化が著しい河川管理施設の改良を行います。樋門の操作方式が手動式で、緊急時に確実な操作が行えないため、電動式の開閉装置に改良します。さらに、防護柵の高さが不足しているため、安全上必要な高さに改良します。

2. 道路事業

○高規格幹線道路関係

1) 一般国道9号 鳥取西道路(延長7.0km) 【資料編 鳥取－4】

一般国道9号鳥取西道路は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市本高から同市松原に至る延長7.0kmの道路です。

鳥取IC～鳥取空港IC(仮称)は平成25年度供用を目標に、トンネル設備、舗装工事を推進します。鳥取空港IC(仮称)～吉岡温泉IC(仮称)は、文化財調査、用地買収及び改良、橋梁工事を推進します。

2) 一般国道9号 鳥取西道路Ⅱ期(延長5.9km)

一般国道9号鳥取西道路Ⅱ期は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市松原から同市気高町下坂本に至る延長5.9kmの道路です。

平成25年度は、文化財調査、用地買収及び改良工事を推進します

3) 一般国道9号 鳥取西道路Ⅲ期(延長6.4km)

一般国道9号鳥取西道路Ⅲ期は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市気高町下坂本から同市青谷町青谷に至る延長6.4kmの道路です。

平成25年度は、文化財調査、用地買収及びトンネル工事を推進します。

○地域高規格道路関係

1) 一般国道9号 駈馳山^{しちやま}バイパス(延長7.7km) 【資料編 鳥取－5】

一般国道9号駈馳山バイパスは、岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、岩美郡岩美町本庄から鳥取市福部町湯山に至る延長7.7kmの道路です。

平成25年度は、平成25年度供用を目標に、橋梁、トンネル、トンネル設備、舗装工事を推進します。

○道路管理関連

1) 鳥取大橋東詰交差点改良(鳥取9号交差点改良等) 【資料編 鳥取－6】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、導流路の設置及びカラー舗装等の交差点改良を行い、交通事故の削減を図ります。

平成25年度に新規着手し、調査設計、工事を推進します。

2) 細川^{ほそがわ}自転車歩行者道整備(鳥取9号交差点改良等) 【資料編 鳥取－7】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間及び通学路における緊急合同点検の対策箇所として、歩道の整備を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

平成25年度に新規着手し、調査設計、工事を推進します。

3) 花^{はな}歩道整備(鳥取29号交差点改良等) 【資料編 鳥取－8】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道の拡幅を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

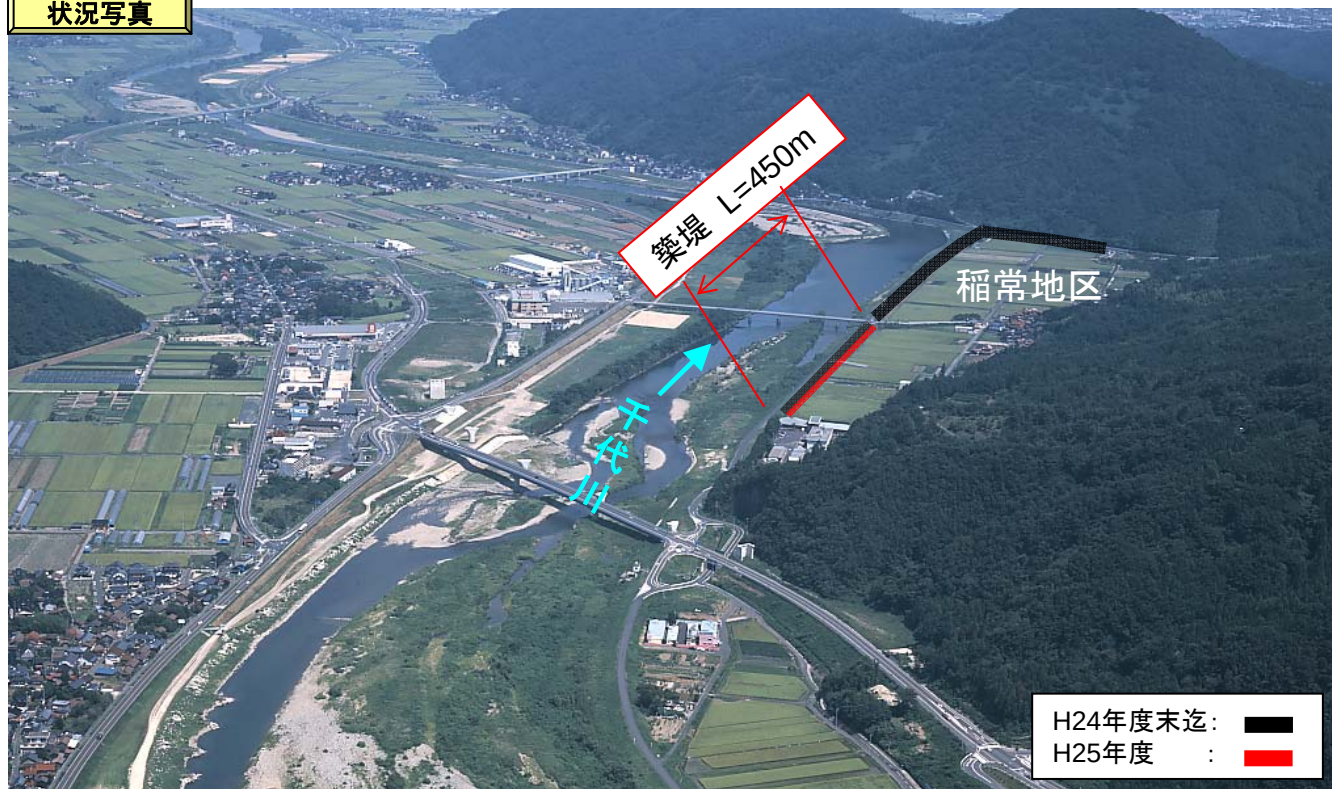
平成25年度に新規着手し、調査設計及び用地買収、工事を推進します。

完成予定

当該地区の堤防は断面が不足しているため、流下能力が著しく不足しているとともに、過去には堤防の裏斜面から漏水の実績があり、堤防の必要な断面を確保するとともに、堤防の浸透対策が必要です。

このため、流下能力確保のための堤防整備及び浸透対策を実施しています。

平成25年度は、引き続き堤防整備及び浸透対策を実施し、当該地区の完成を目指します。

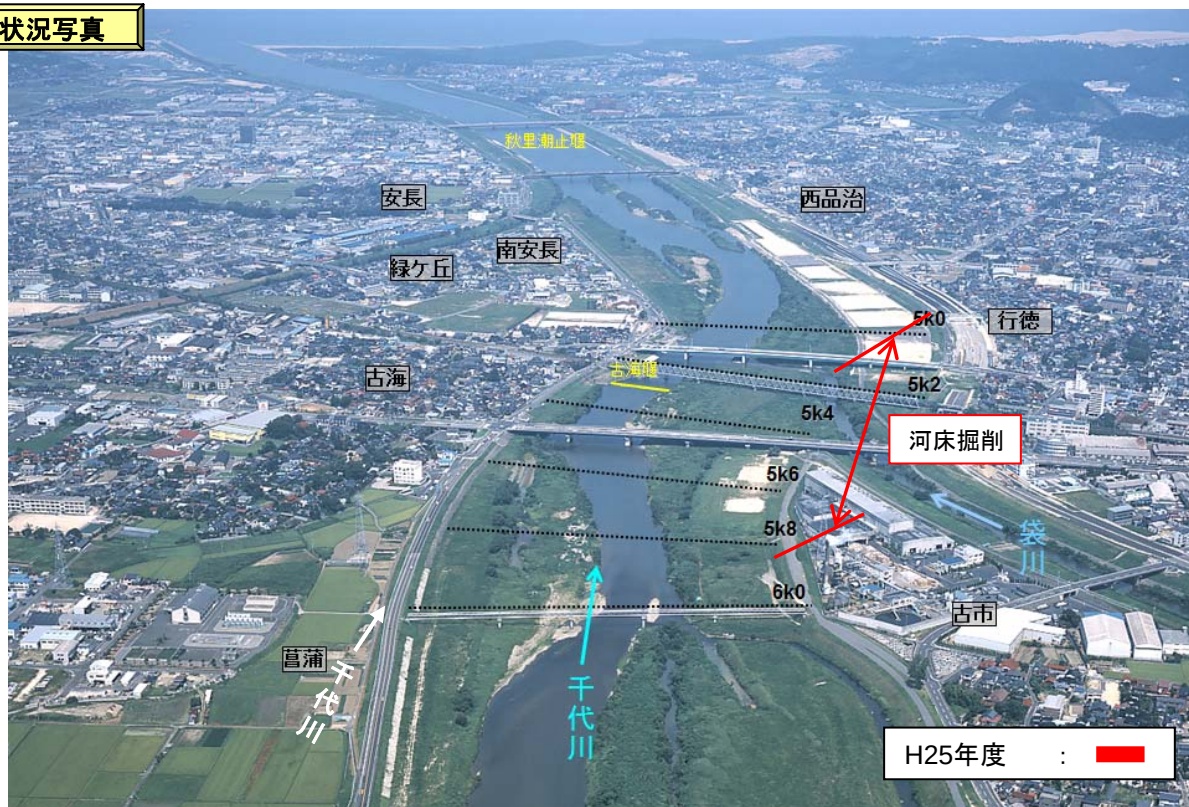
位置図**状況写真****期待される整備効果**

事業の完了により、河川整備計画の目標である戦後最大相当（昭和54年10月洪水）の洪水が発生した場合においても浸水被害の防止が図られます。

事業推進

当該地区は、堤防は完成しているものの、土砂堆積等により流下能力が不足しており、ひとたび氾濫すると、背後に鳥取市街地を抱えていることから、甚大な浸水被害が発生する恐れがあり、浸水被害の防止が必要です。

このため、流下能力の確保を図るため、平成25年度は河床掘削を実施します。

位置図**状況写真****期待される整備効果**

事業の完了により、河川整備計画の目標である戦後最大相当（昭和54年10月洪水）の洪水が発生した場合においても浸水被害の防止が図られます。

事業推進

■老朽化が著しい河川管理施設の改良措置

施設の改良

○樋門の操作方式が手動式の開閉装置であるため、操作時に多大な労力を必要とする設備です。近年、操作員の高齢化が問題となっているため、緊急時に確実な操作を行うために電動式の開閉装置に改良します。



手動式の開閉装置



電動式の開閉装置



○さらに、管理橋の防護柵は旧設計基準で施工され、高さが不足しているので、新基準の安全上必要な高さ(1.1m)に防護柵を改良します。

期待される整備効果

河川管理施設の施設性能を改善します。

とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路

事業費3,920百万円

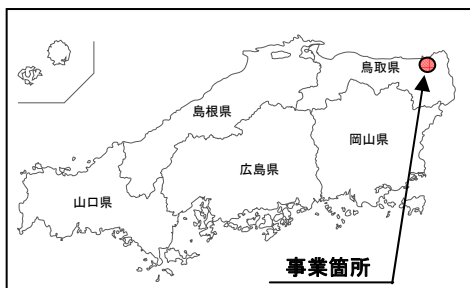
鳥取-4

部分完成予定

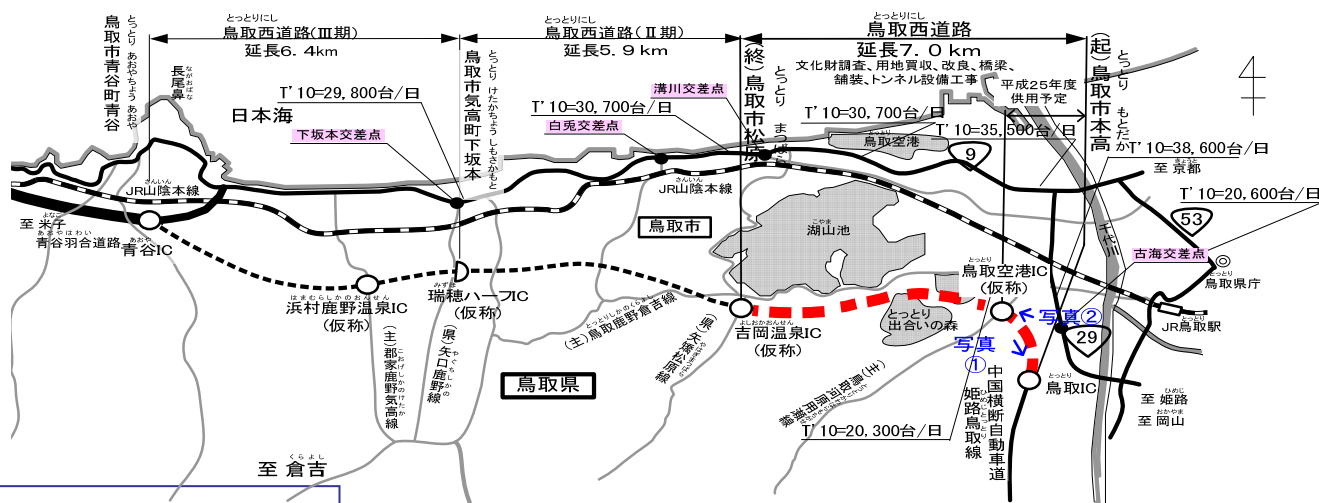
一般国道9号鳥取西道路は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市本高から同市松原に至る延長7.0kmの道路です。

平成25年度は、鳥取IC～鳥取空港IC(仮称)間の平成25年度の部分供用(暫定)及び鳥取空港IC(仮称)～吉岡温泉IC(仮称)間の早期供用に向け、埋蔵文化財調査、用地買収及び改良、橋梁、舗装、トンネル設備工事を推進します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

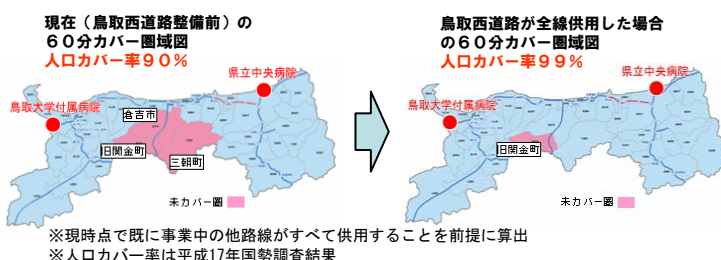
●所要時間の短縮

・鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



●第三次医療施設までのアクセス向上

・鳥取県の三次医療施設は、県立中央病院(鳥取市)と鳥取大学付属病院(米子市)の2カ所であり、鳥取西道路の整備により、県中部の60分カバー圏が大幅に拡大し、救命率の向上が期待される。



一般国道9号 駒馳山バイパス

事業費5,430百万円

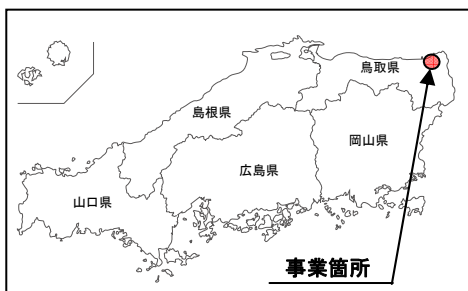
鳥取-5

H25年度完成予定

一般国道9号駒馳山バイパスは、岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の現道隘路区間の解消及び冬期交通の安全確保を目的とした、延長7.7kmの道路です。

平成25年度は、平成25年度の全線供用(暫定)に向け、橋梁、トンネル、トンネル設備、舗装工事を推進します。

位置図



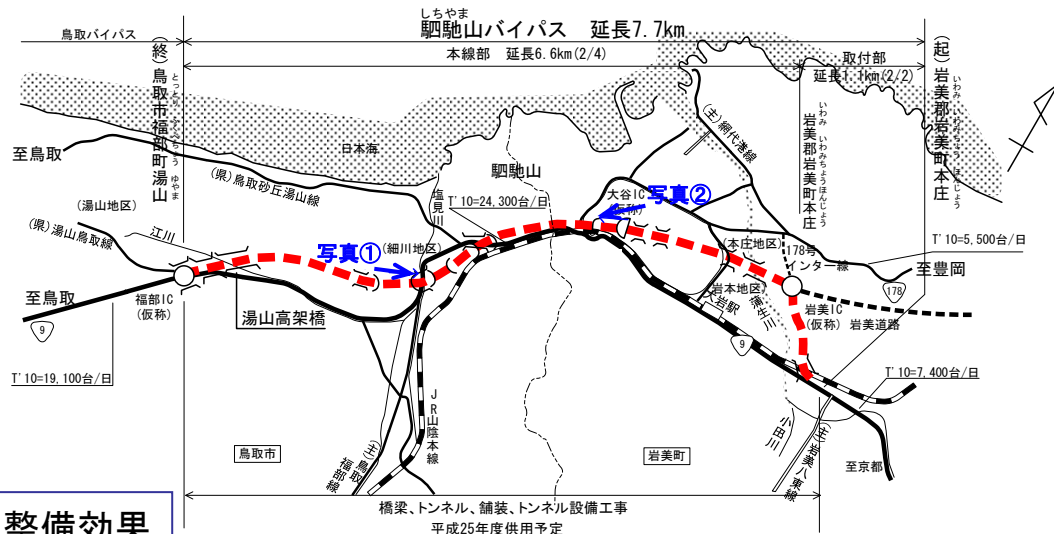
進捗状況写真



写真①細川地区(塩見川橋)



写真②大谷地区(駒馳山トンネル)



期待される整備効果

●現道の隘路区間の解消

一般国道9号の駒馳山峠は、急カーブや急勾配が連続しており、特に冬期には交通のネックになっている。駒馳山バイパスの整備により、快適で安全な走行が期待される。



●第三次医療施設までのアクセス向上

駒馳山バイパスの整備により、第三次医療施設(県立中央病院)への搬送時間短縮により、救命率の向上が期待される。また、駒馳山峠部の線形不良区間の解消により、搬送患者の負担軽減となる。

所要時間の短縮

[現状] 国道9号、178号経由

43分

[供用後] 鳥取豊岡宮津自動車道経由

7分短縮

36分

※鳥取豊岡宮津自動車道等が全線整備された場合

鳥取豊岡宮津自動車道はV=70km/h、その他は規制速度より算出

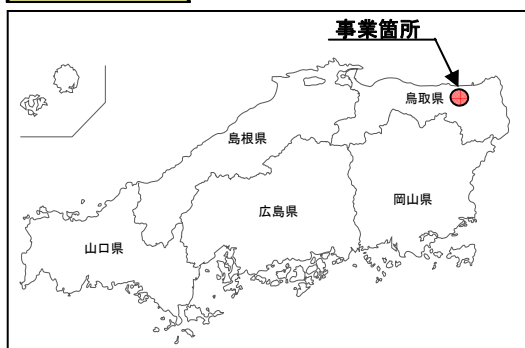
新規着手

国道9号の鳥取市秋里^{とっとり あきさと}に位置する当該交差点では、本線上や流入部において、流入車両に起因する追突事故が発生しています。

本事業は、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、導流路の設置、カラー舗装等の交差点改良を行い、交通事故の削減を図ります。

平成25年度に新規着手し、調査設計、工事を推進します。

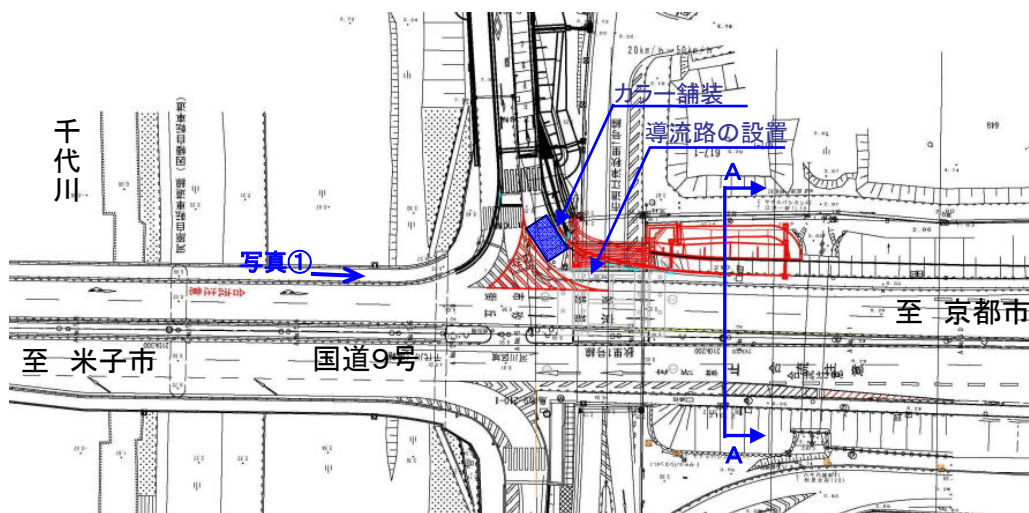
位置図



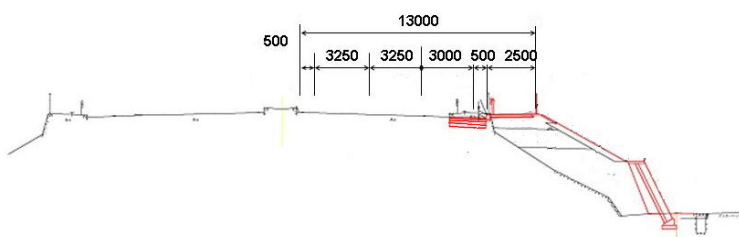
現況写真



計画平面図



計画横断面図(A-A断面)



期待される整備効果

交差点改良の実施により、交通事故の削減を図る。

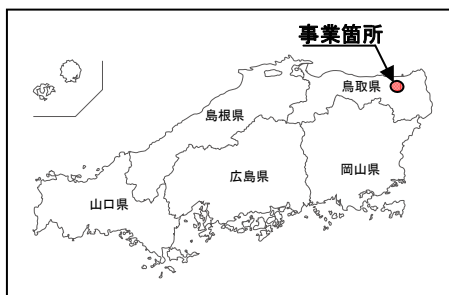
新規着手

国道9号の鳥取市福部町細川に位置する当該箇所は、福部小学校の通学路として利用されているが、歩道が狭隘であり、歩行者が危険な状況におかれています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間及び通学路における緊急合同点検の対策箇所として、歩道の整備を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

平成25年度に新規着手し、調査設計、工事を推進します。

位置図



現況写真

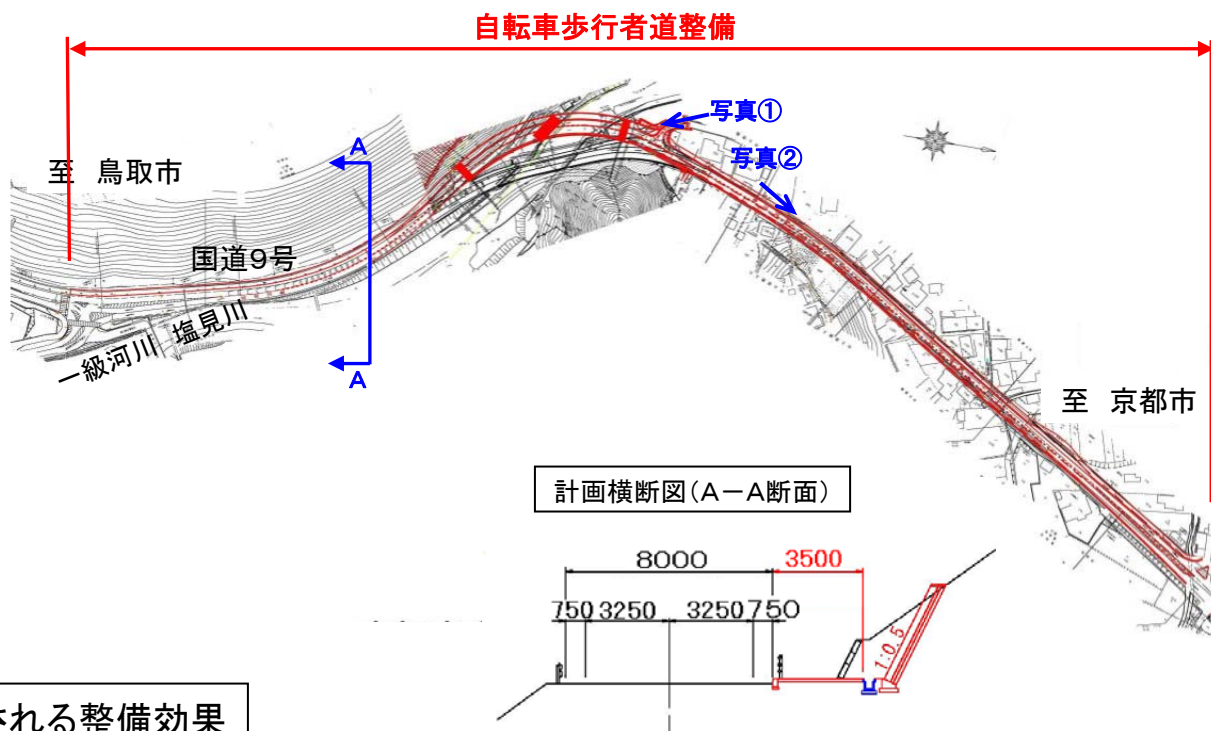


写真① 国道9号(鳥取市福部町細川地内)



写真② 国道9号(鳥取市福部町細川地内)

計画平面図



期待される整備効果

自転車歩行者道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

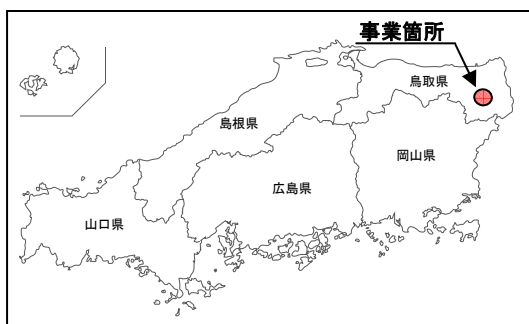
新規着手

国道29号の八頭郡八頭町花^{や ず や ず ちゅう はな}に位置する当該箇所では、歩道の幅が1m程度の箇所や歩道が無い箇所があり、歩行者と走行車両が近接して通行する危険な箇所になっています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道の拡幅を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

平成25年度に新規着手し、調査設計及び用地買収、工事を推進します。

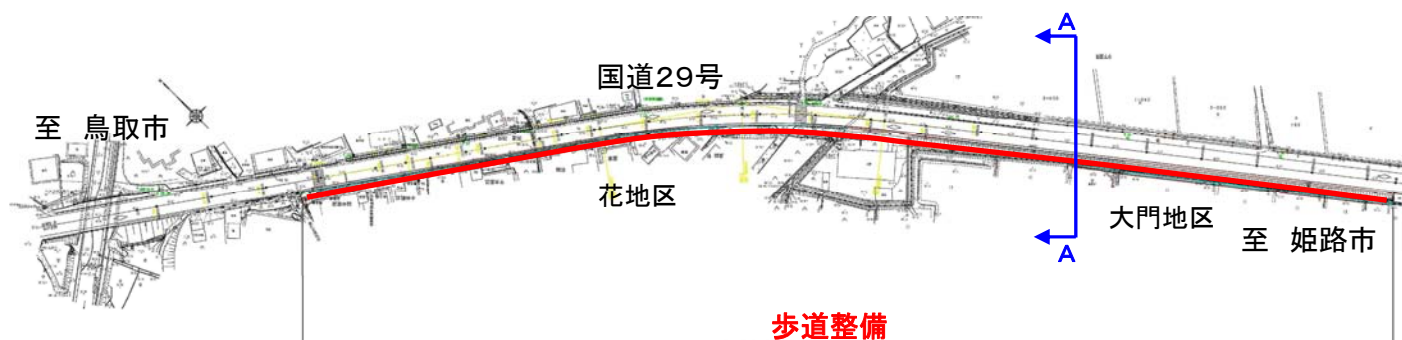
位置図



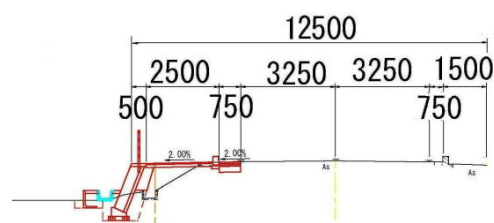
現況写真



計画平面図



計画横断面図(A-A断面)



期待される整備効果

歩道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

平成 2 5 年度事業の概要

倉吉河川国道事務所

1. 河川事業

1) 天神川一般河川改修事業

①倉吉市巖城地区

【資料編 倉吉－1】

倉吉市巖城箇所は、資産・人口の集中する天神川下流左岸の小鴨川合流点付近に位置し、堤防決壊に対する安全度確保の観点から浸食対策が必要となっています。

平成 2 5 年度は、護岸工を実施し、天神川下流左岸の侵食対策を一連で完了させます。

②倉吉市小鴨地区

【資料編 倉吉－2】

天神川支川小鴨川の中流部は、河道の断面不足により流下能力が不足していることから、流下能力の確保及び堤防の侵食対策が必要となっています。

平成 2 5 年度は、河床掘削等の工事を推進します。

2. 砂防事業

1) 田代砂防堰堤

【資料編 倉吉－3】

田代砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川田代川に計画した砂防堰堤（H=9.0m, L=50.5m）です。

平成 2 5 年度の完成を予定しており、平成 2 5 年度は鋼製スリット部分及び管理用通路を実施します。

2) 大谷砂防堰堤

【資料編 倉吉－4】

大谷砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川下大谷谷川に計画した砂防堰堤（H=12.5m, L=59.0m）です。

平成 2 5 年度は管理用通路及び付替道路に着手します。

3) 吉田砂防堰堤

【資料編 倉吉－5】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤（H=12.5m, L=81.5m）です。

平成 2 5 年度は砂防堰堤及び管理用通路に着手します。

4) 野添 5 号砂防堰堤

【資料編 倉吉－6】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤（H=14.5m、L=74.0m）です。

平成 2 5 年度は砂防堰堤工事を実施します。

5) 小鴨川第 4 号堰堤

【資料編 倉吉－7】

昭和 2 4 年に完成した小鴨川第 4 号堰堤は、小鴨川本川の流出土砂整備を担う重要

な施設となっており、現行の設計基準を満たすように堰堤補強を行うものです。
平成２５年度より事業着手し、平成２５年度内での完成を予定しています。

３．道路事業

○高規格幹線道路関係

1) 中山・名和道路、名和・淀江道路

【資料編 倉吉－８】

一般国道９号中山・名和道路、名和・淀江道路は、西伯郡大山町周辺における交通安全の確保及び災害等の非常時における代替路の確保を目的とした、西伯郡大山町八重から同町安原に至る延長４．３kmの道路及び１２．１kmの道路です。平成１９年度までに延長７．８kmが供用しています。

平成２５年度は、平成２５年度の全線供用（暫定）に向け、埋蔵文化財調査及び改良、橋梁、舗装工事を推進します。

○管理関連

1) 鳥取９号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策）

【資料編 倉吉－９】

本事業は、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、交差点２区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

平成２５年度は、調査・設計を実施します。

2) 鳥取９号交差点改良等（琴浦地区交差点改良）

【資料編 倉吉－１０】

本事業は、右折車線設置等による交差点改良を行い事故削減を図るとともに、歩道拡幅により通行者の安全性向上を図るものです。

平成２５年度は、調査設計、用地買収を実施します。

天神川一般河川改修事業 (巖城地区)

倉吉-1

事業費 496 百万円
※天神川水系全体

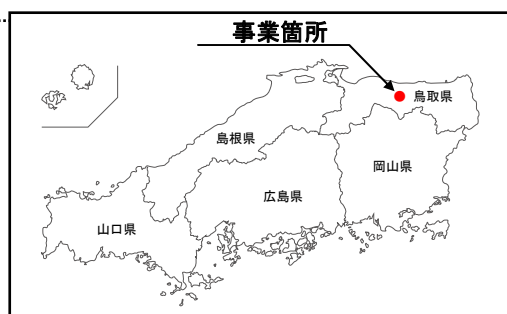
H25年度完成予定

【事業概要】

天神川は急流河川であることから、洪水時には流速が早く、堤防等の侵食の危険性が高く、過去には河岸侵食等の被害が多数発生しています。

当該地区は、資産・人口の集中する天神川下流左岸の小鴨川合流点付近に位置し、堤防決壊に対する安全度確保の観点から侵食対策が必要です。

平成25年度は、侵食対策である護岸工を実施し、天神川下流左岸の侵食対策を一連で完成させます。



管内の過去災害においても、堤防法面が侵食され事例頻発



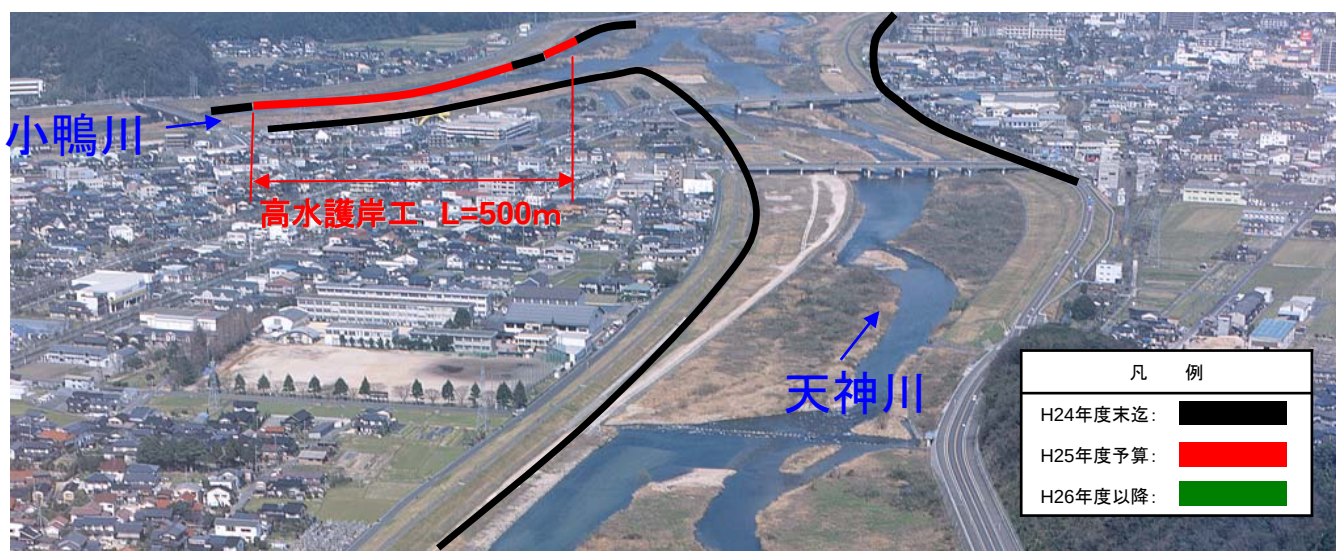
H10.10洪水



H4.10洪水



H5.10洪水



凡 例	
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色

期待される整備効果

洪水により河岸や堤防の侵食が進行した場合には、堤防決壊等の重大な災害が発生する可能性があります。ひとたび堤防が決壊した場合、宅地側へ洪水がはん濫し、家屋損壊・浸水等の甚大な被害が発生するおそれがあります。

当該地区において、河岸侵食防止対策を実施することで、堤防決壊等の重大な災害を防止し、洪水のはん濫による浸水被害の防止・軽減が図られます。

天神川一般河川改修事業

(倉吉市小鴨地区)

倉吉-2

事業費 496 百万円

※天神川水系全体

事業推進

【事業概要】

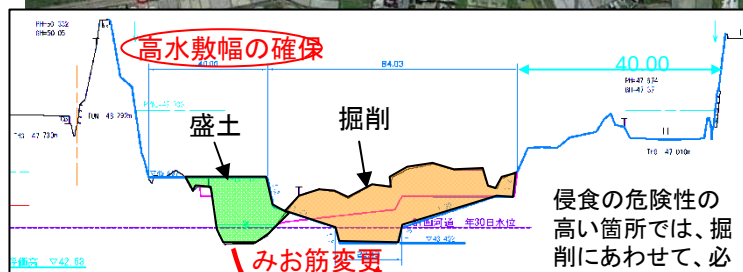
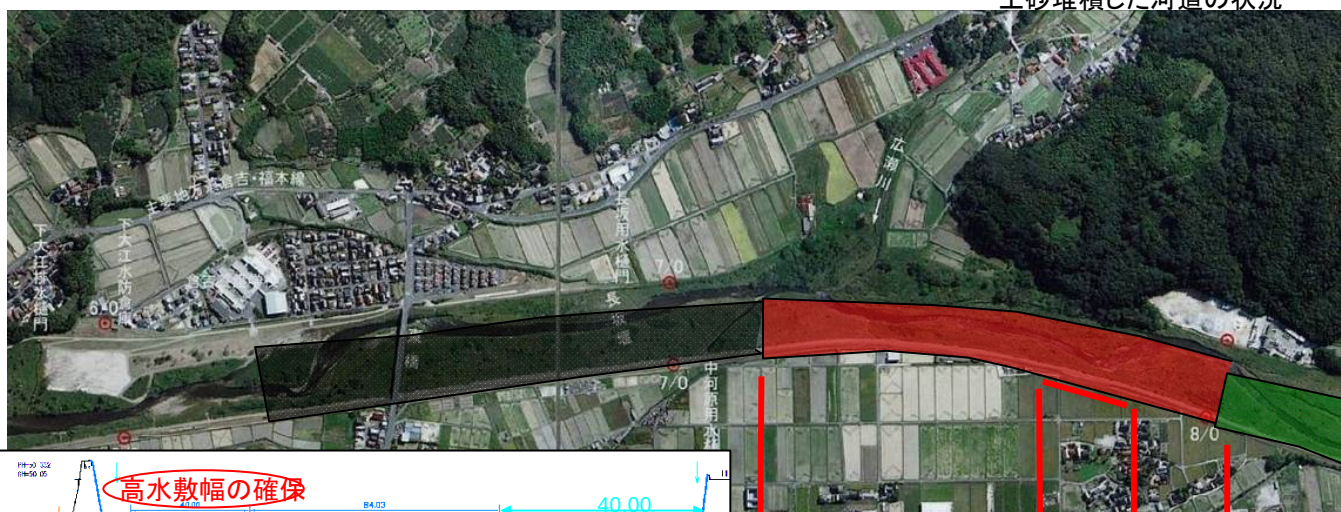
支川小鴨川の中流部は、堤防は概成しているものの流下断面の不足により、流下能力が不足しており、洪水によるはん濫が発生した場合には、西倉吉工業団地等を背後に抱えるため、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。また、急流河川であるがゆえ、洪水時の流速が早く、堤防等の侵食の危険性が高く、侵食対策が必要です。

このため、流下能力を確保するために河道掘削、侵食による堤防等の決壊を防止するため侵食対策を実施しています。

平成25年度は、河道掘削・侵食対策である護岸工を実施します。



土砂堆積した河道の状況



侵食の危険性の高い箇所では、掘削にあわせて、必要高水敷幅の確保を行います。

低水護岸工 L=300m
河床掘削 30,000m³

H24年度末迄: 黒
H25年度予算: 赤
H26年度以降: 緑

期待される整備効果

当事業の完了により、戦後最大洪水である昭和34年伊勢湾台風洪水と同規模の洪水が再び発生したとしても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

大山山系（天神川水系）砂防事業（三朝町田代地区）

倉吉-3

事業費398.3百万円
※天神川水系全体

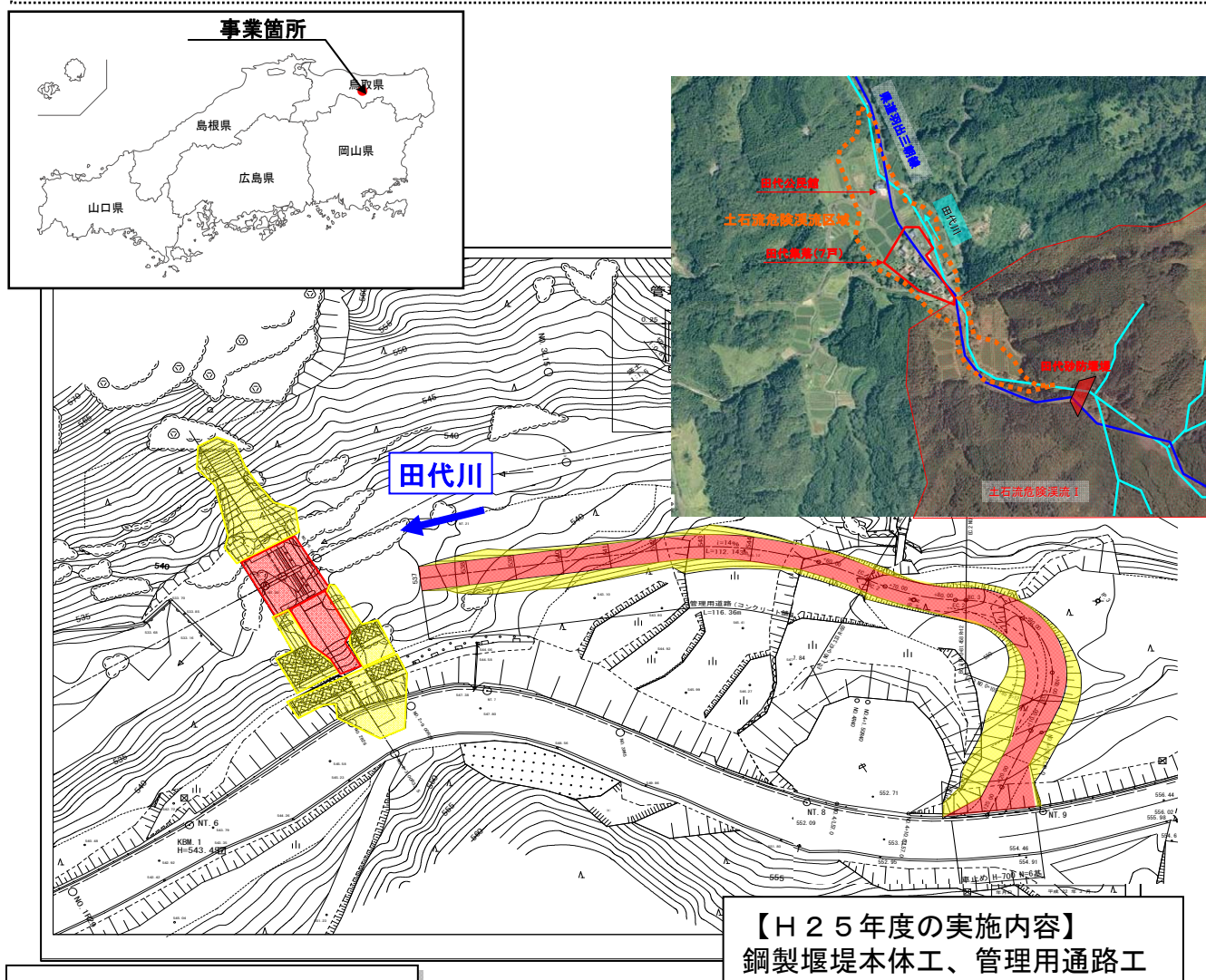
H25年度完成予定

【事業概要】

田代砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川田代川に計画した砂防堰堤（ $H=9.0\text{m}$, $L=50.5\text{m}$ ）です。

当流域の下流地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、下流地域における再度災害を防止するために平成23年度から事業に着手しています。

平成25年度の完成を予定しており、平成25年度は鋼製スリット部分及び管理用通路を実施します。



期待される整備効果

田代川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の田代地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系（天神川水系）砂防事業（三朝町大谷地区）

み さ さ おおたに

倉吉-4

事業費398.3百万円
※天神川水系全体

事業推進

【事業概要】

大谷砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川下大谷谷川に計画した砂防堰堤（H=12.5m, L=59.0m）です。

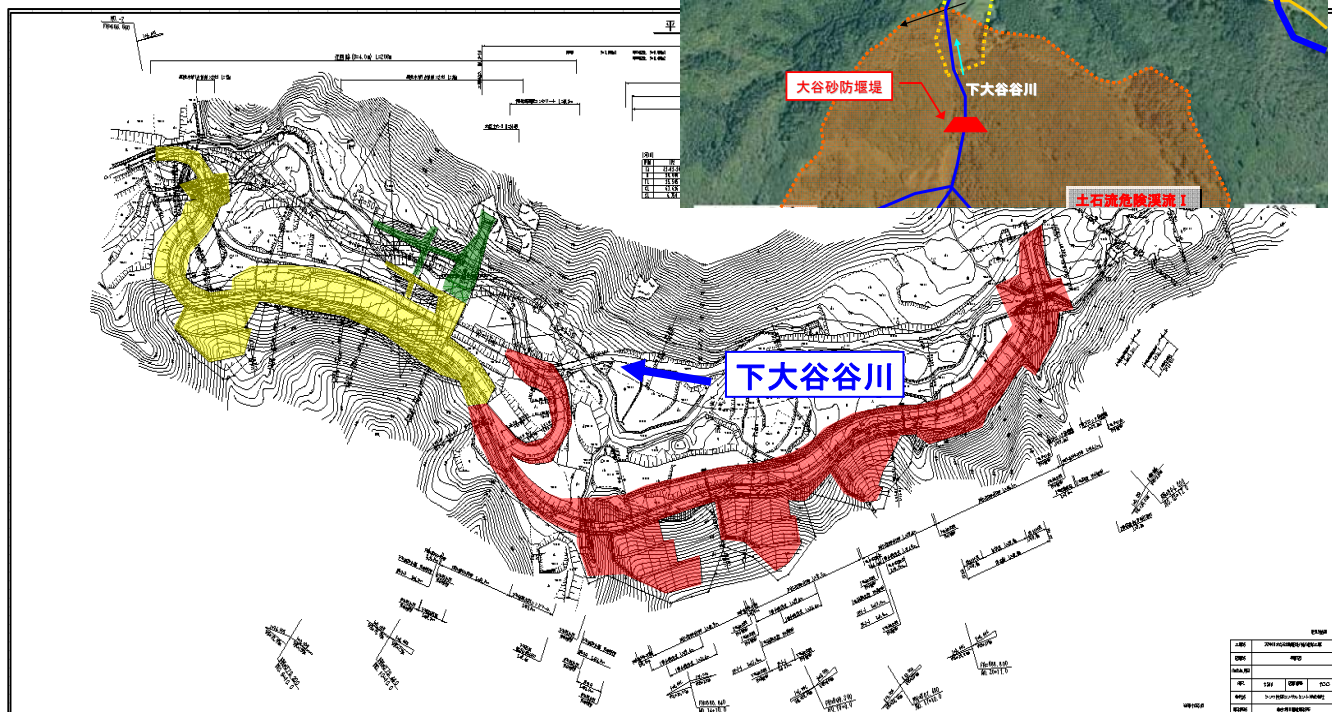
当流域の下流地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、下流地域における再度災害を防止するために平成24年度から事業に着手しています。

平成25年度は管理用通路及び付替道路に着手します。

事業箇所



【H25年度の実施内容】 管理用通路工、付替道路工



期待される整備効果

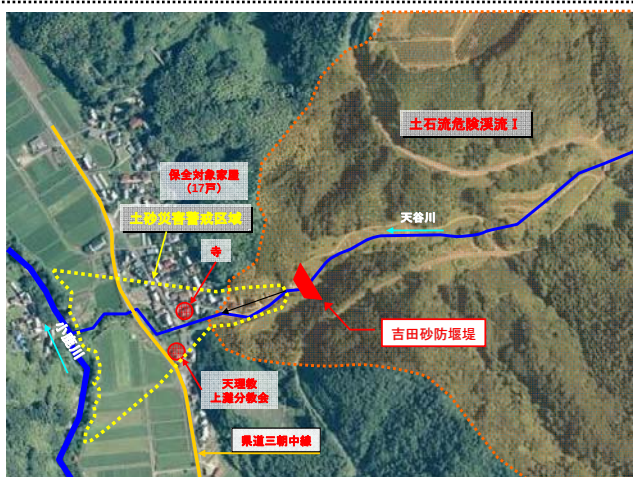
下大谷谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の大谷地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

み ささ よしだ

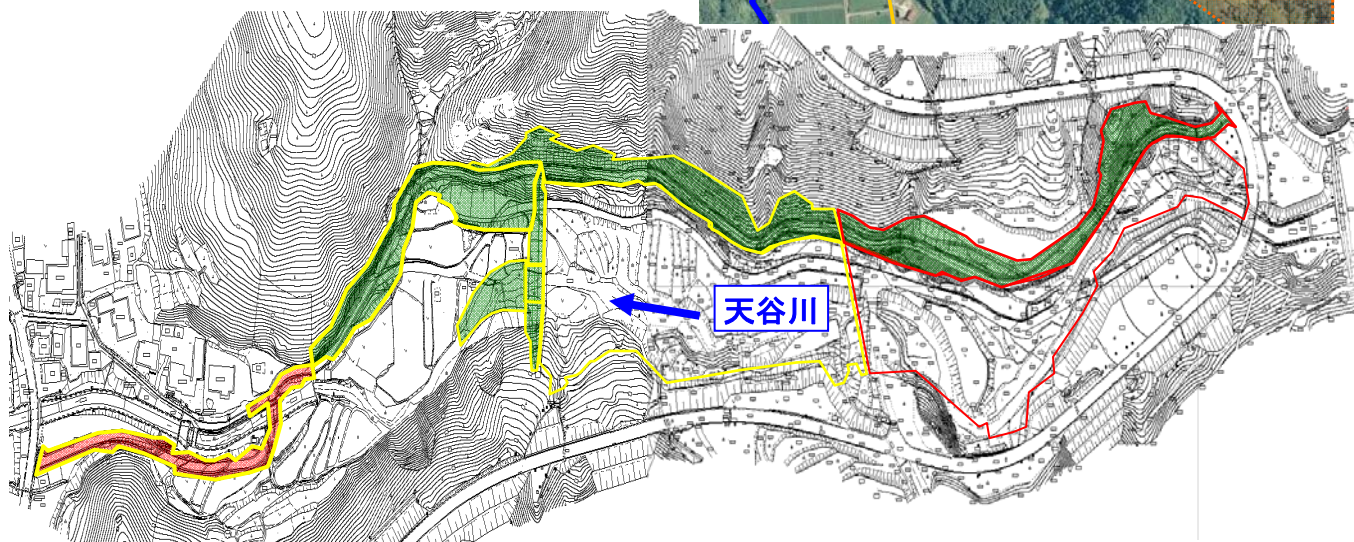
事業費398.3百万円
※天神川水系全体

【事業概要】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤(H=12.5m, L=81.5m)です。周辺地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、三朝温泉をはじめとする下流域を保全するために平成24年度から事業に着手しています。平成25年度は付替道路及び管理用通路に着手します。



【H25年度の実施内容】
付替道路工、管理用通路工



期待される整備効果

天谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の吉田地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系（天神川水系）砂防事業（倉吉市野添地区）

くらし のぞ

倉吉-6

事業費398.3百万円

※天神川水系全体

事業推進

【事業概要】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤（H=14.5m、L=74.0m）です。

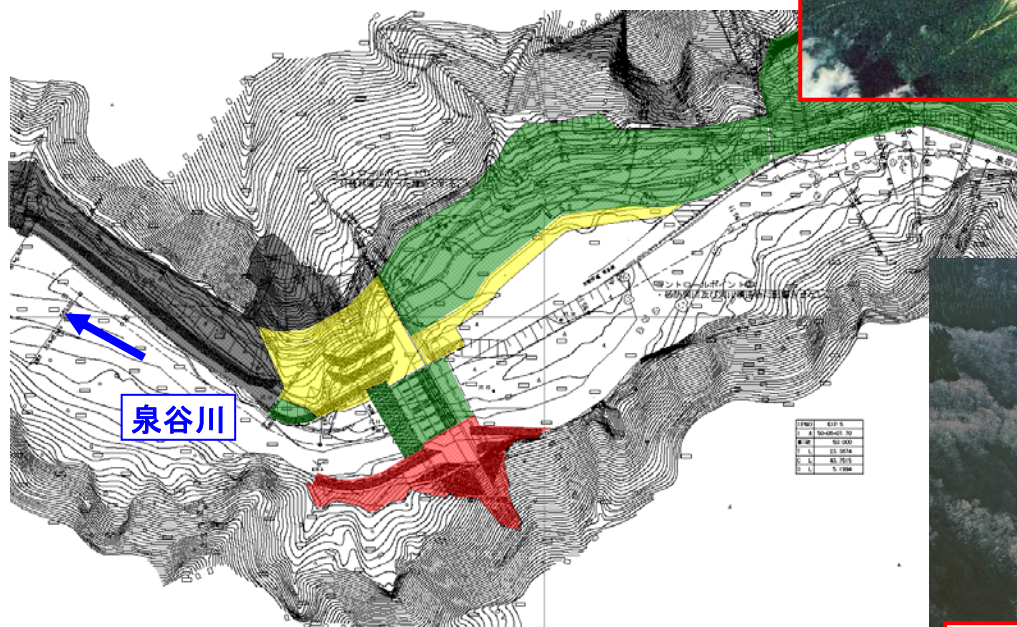
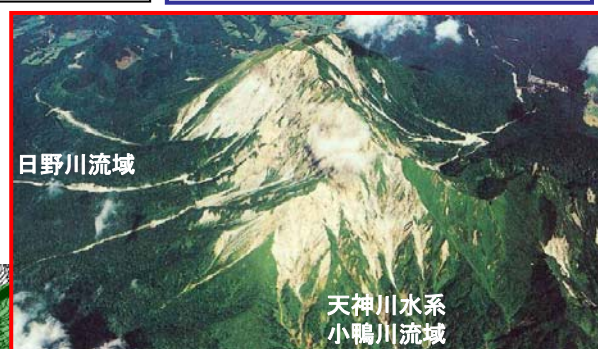
泉谷川は、土砂生産が盛んな大山の重荒廃地域であるため、優先的に整備を進めており、平成21年度から事業に着手しています。

平成25年度は砂防堰堤工事を実施します。



【H 2 5 年度の実施内容】 砂防堰堤工

荒廃の著しい大山源頭部の状況



期待される整備効果

泉谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の野添地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系（天神川水系）砂防事業（倉吉市明高地区）

くらし

みようこう

倉吉-7

事業費398.3百万円
※天神川水系全体

H25年度完成予定

【事業概要】

昭和24年に完成した小鴨川第4号堰堤は、小鴨川本川の流出土砂整備を担う重要施設となっていますが、計画規模の土砂流に対して、水通しの流下能力や躯体断面が不足する等、現行の設計基準を満足していない状況となっています。また、下流には山守小学校等の保全施設があるため、堰堤補強を行う必要があります。

平成25年度より事業着手し、平成25年度内での完成を予定しています。

事業箇所

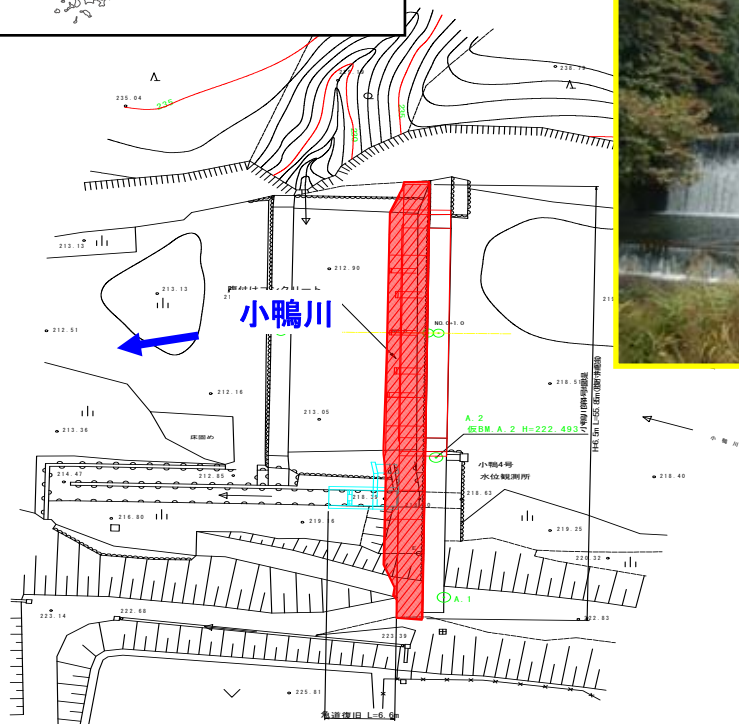


【H25年度の実施内容】

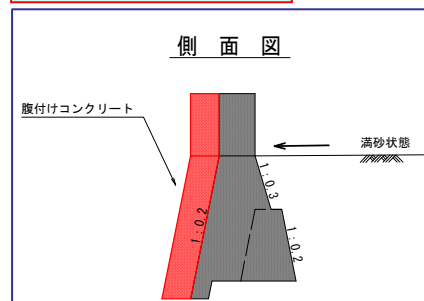
堰堤補強



小鴨川第4号堰堤



※堰堤補強イメージ



期待される整備効果

堰堤補強により、施設効果量の保持及び下流集落の保全を図ります。

一般国道9号 中山・名和道路 一般国道9号 名和・淀江道路

事業費1,550百万円

事業費1,250百万円

倉吉-8

H25年度完成予定

一般国道9号中山・名和道路、名和・淀江道路は、西伯郡大山町周辺における交通安全の確保及び災害等の非常時における代替路の確保を目的とした、西伯郡大山町八重から同町安原に至る延長4.3kmの道路及び12.1kmの道路です。平成19年度までに延長7.8kmが供用しています。

平成25年度は、平成25年度の全線供用(暫定)に向け、埋蔵文化財調査及び改良、橋梁、舗装工事を推進します。

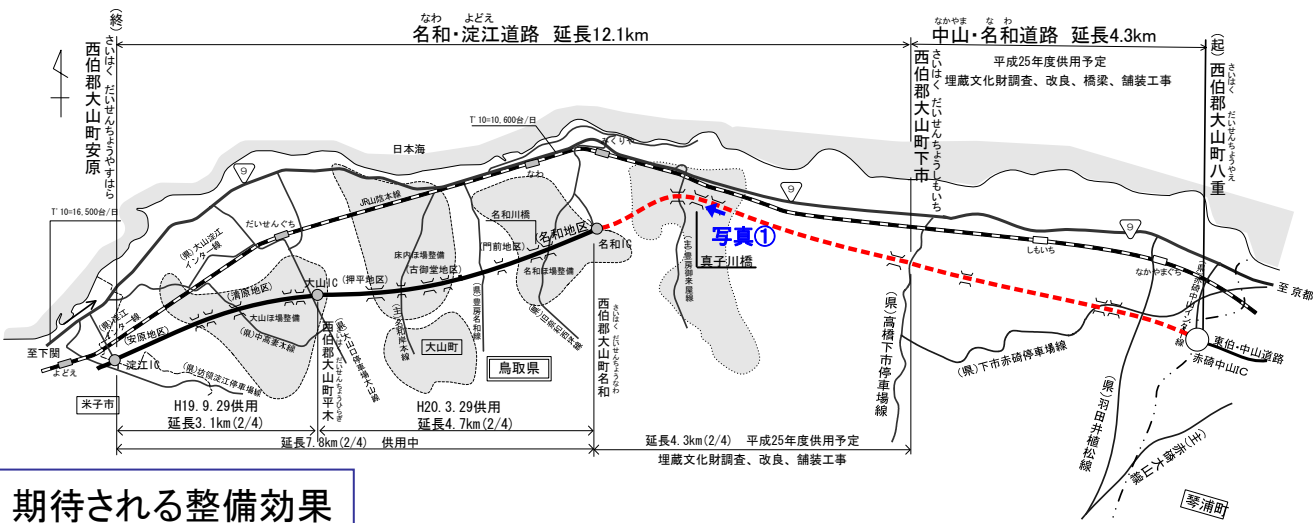
位置図



進捗状況写真



現道状況(通行障害)



期待される整備効果

● 走行時間短縮による物流効率化の支援

鳥取県中部及び沿線の工業団地から境港や米子空港までの所要時間が短縮され、物流の効率化が期待されます。



● 代替路線の確保による道路網の信頼性向上

山陰道が迂回路として機能することにより、東西交通の確保及び復旧・救援作業を迅速に行う事が可能になり、現道の早期復旧により生活面・経済面の影響が軽減されます。



鳥取9号交差点改良等

(湯梨浜・北栄地区事故対策)

倉吉-9

事業費54百万円

事業推進

当該箇所を含む国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間であるため、スピード超過しやすい区間となっており、東方面、西方面いずれの交通も、長瀬浜入口交差点・長瀬新川入口交差点及び新旧国道313号との交差点で信号停止車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

平成25年度は、調査・設計を実施します。

位置図



現況写真



写真① 長瀬浜入口交差点と長瀬新川入口交差点



期待される整備効果

交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図ります。

鳥取9号交差点改良等(琴浦地区交差点改良)

倉吉-10

事業費54百万円

事業推進

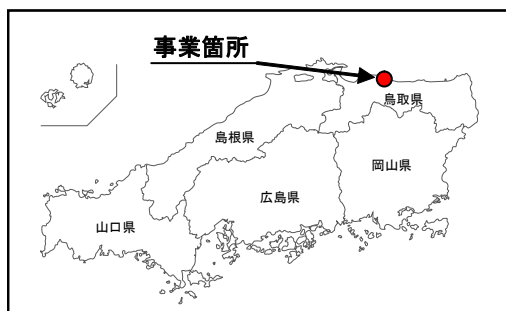
当該箇所は、東伯郡琴浦町赤碕地内及び八橋地内の国道9号と町道が交わる交差点であり、八橋においては旧東伯町市街地近隣に位置し交通量の多い区間である。

現在、右折レーンが無いため右折待ち車両による直進障害が発生している他、右折待ち車両に後続直進車が追突する事故等が発生している。また、赤碕においては通学路区間であるが、既設歩道は正規の幅員が確保されて無いため安全性に不安がある。

本事業は、右折車線設置等による交差点改良を行い事故削減を図ると共に、歩道拡幅により通行者の安全性向上を図るものである。

平成25年度は、調査設計、用地買収を実施する予定である。

位置図



現況写真



写真① 赤碕小学校入口交差点



写真② 八橋小学校入口交差点



期待される整備効果

右折車線設置等による交差点改良を行い事故削減を図ると共に、歩道拡幅により通行者の安全性向上を図ります。

平成25年度事業の概要

日野川河川事務所

1. 河川事業

1) 日野川一般河川改修事業(青木地区) 【資料編 日野川－1】

日野川支川法勝寺川の流下能力向上を図るため、平成23年度より米子市青木地区の改修工事に着手しており、25年度も引き続き河道掘削等の工事を促進します。

2. 砂防事業

1) 大山山系(日野川水系)直轄火山砂防事業 【資料編 日野川－2】

解体期にある大山及び各溪流から流出する土砂災害から地域住民の生命と財産を守るため、引き続き整備率の向上を図ります。

① 三の沢砂防堰堤

江府町大河原地内の小江尾川^{こえびがわ}において、堰堤本体工事を促進します。

② 須郷砂防堰堤^{すごう}

江府町大河原地内の小江尾川^{こえびがわ}において、堰堤本体工事を促進します。

③ 久古砂防堰堤^{くこ}

伯耆町久古地内の別所川^{べっしょがわ}において、堰堤本体改良工事を促進します。

④ 林ヶ原砂防堰堤^{はやしがはら}

伯耆町林ヶ原地内の清山川^{せいやまがわ}において、堰堤本体工事に着手します。

⑤ 日光砂防堰堤^{にっこう}

江府町日光地内の白水川^{しらみがわ}において、堰堤本体工事に必要な用地測量を促進します。

3. 海岸事業

1) 皆生海岸保全施設整備事業 【資料編 日野川－3】

皆生工区において、沖合侵食により機能低下した離岸堤の機能回復を図るため、人工リーフ(砂の安定)整備を促進するとともに、富益工区においてサンドリサイクル(砂の循環)による保全対策を促進します。

ひ の がわ

日野川一般河川改修事業

よなごしあおき
(米子市青木地区)

日野川-1

事業費 233 百万円

※日野川水系全体

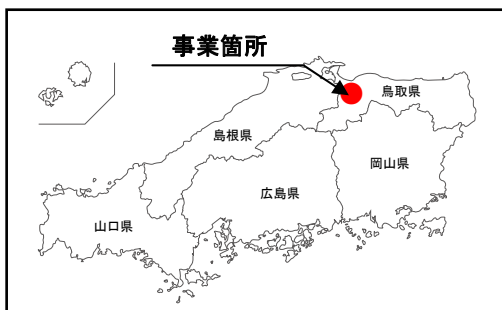
事業推進

【事業概要】

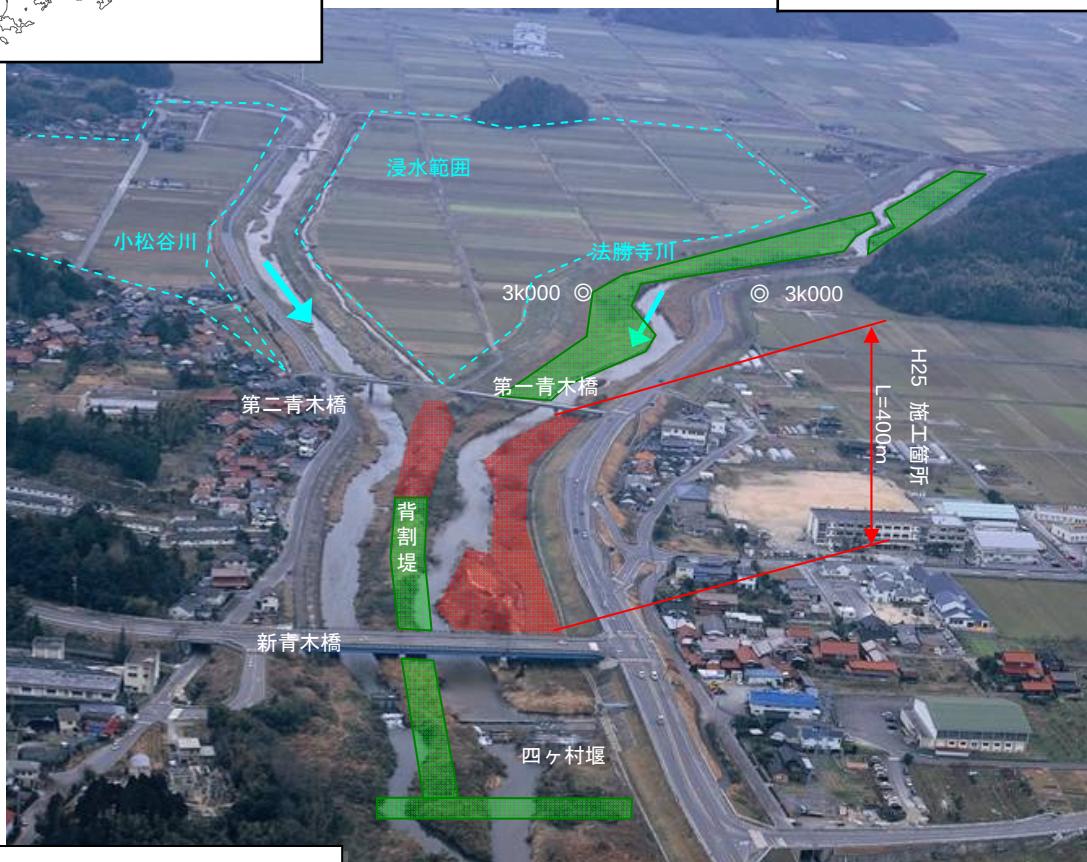
当該地区ではでは支川小松谷川合流点の四ヶ村堰(固定堰)の河積阻害と河道断面の不足により流下能力が低く、計画規模の洪水が発生し、法勝寺川左岸の堤防が決壊した場合には、その被害が米子中心市街地(県内人口第2位)にまでおよびます。

また、支川小松谷川合流点付近では、近年法勝寺川の水位上昇により内水はん濫による浸水被害が4回(H16、H18、H21、H23)発生しており、浸水被害の防止が必要です。

このため、流下能力の確保を図るための河道掘削、固定堰の改築を実施します。



凡 例	
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色



期待される整備効果

昭和34年9月の戦後最大洪水に対する流下能力確保することで、米子市街地への浸水被害の軽減を図るとともに、青木地区における内水被害の軽減が図られます。

だいせん 大山山系直轄火山砂防事業 (日野川水系)

日野川-2

事業費 475 百万円

※日野川水系全体

事業推進

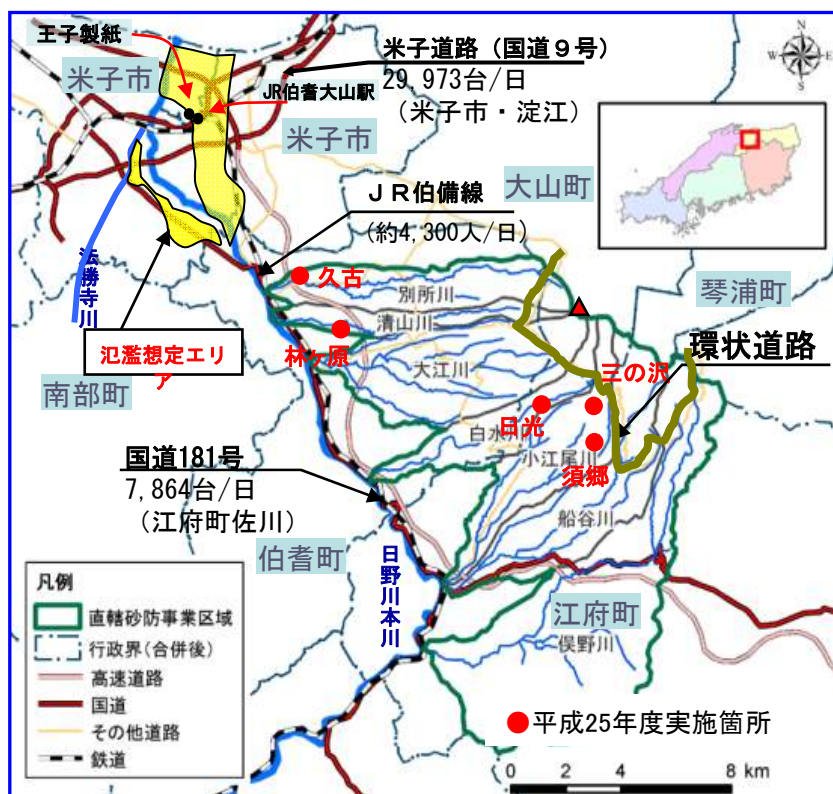
中国地方随一の高峰である大山は、解体期を迎え源頭部の崩壊が著しく、山麓斜面には脆弱な火山堆積物や風化花崗岩が広く分布しており、土砂流出による災害発生の危険性が高い状況にあります。

大山山系直轄火山砂防事業は、砂防えん堤等の整備により、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、下流の人家等を土石流の被害から保全します。

大山の源頭部は崩壊地が広がっているため、たびたび土砂流出を生じている。



大山環状道路への土砂流出状況



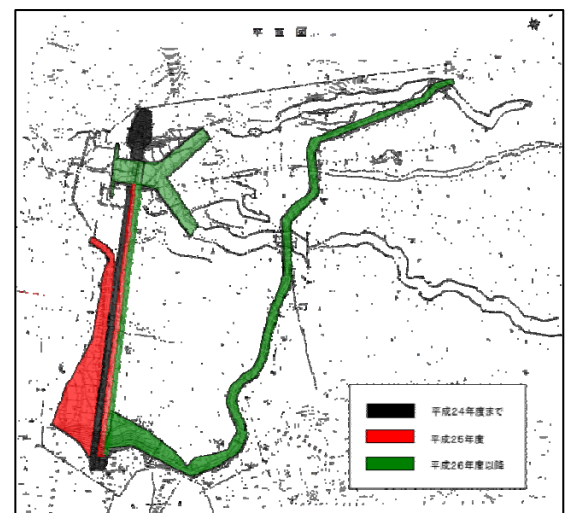
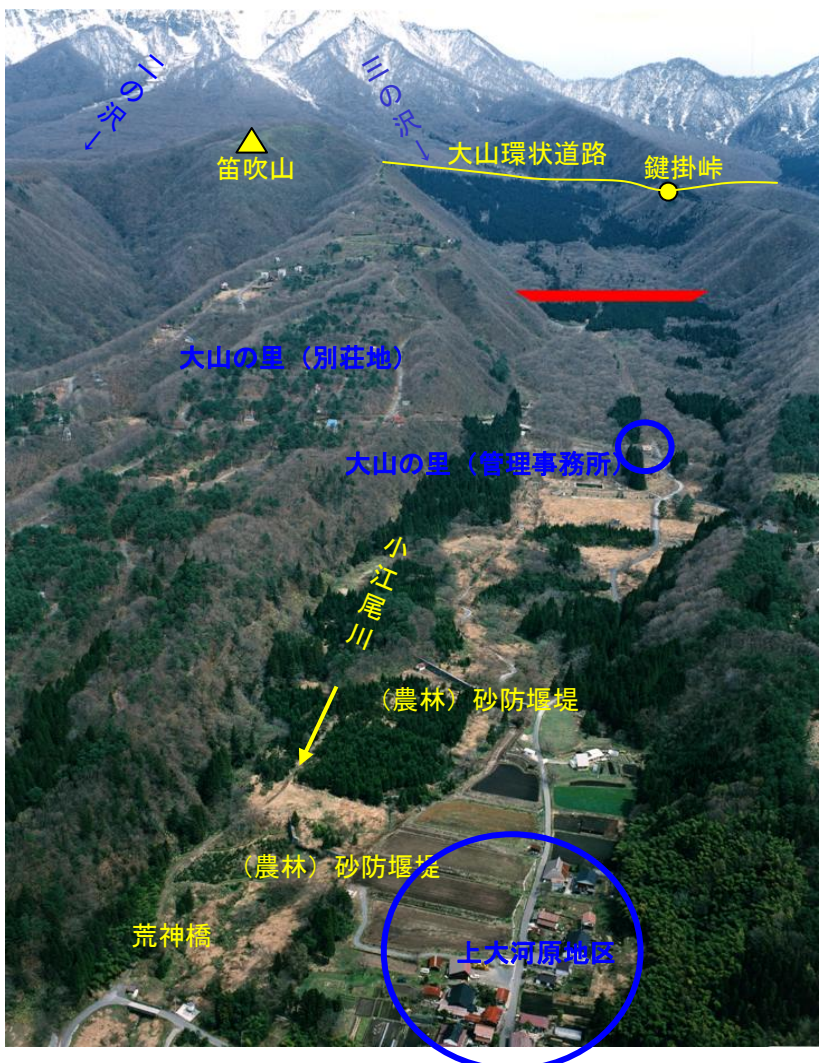
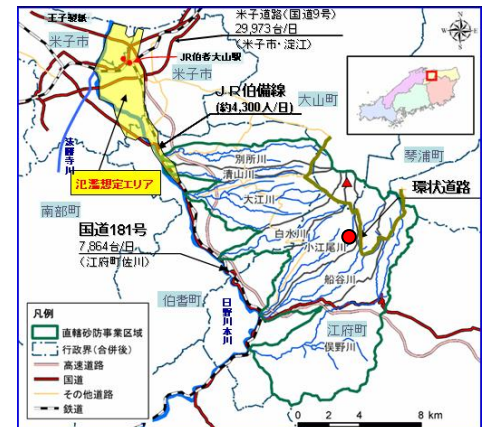
小江尾川から日野川への土砂流出状況

大山山系(日野川) 直轄火山砂防事業 (三の沢砂防堰堤)

さんのさわ

1. 事業概要

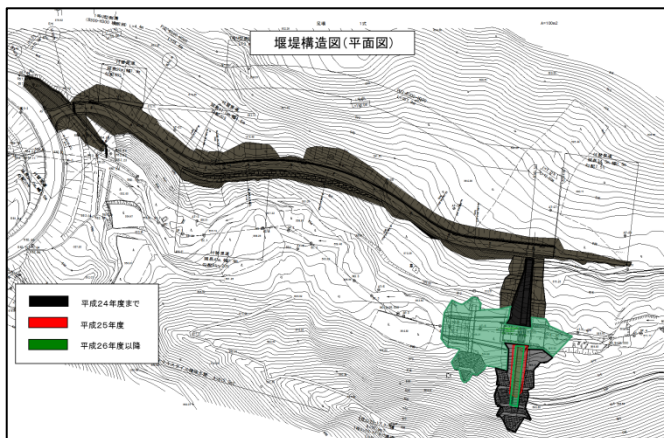
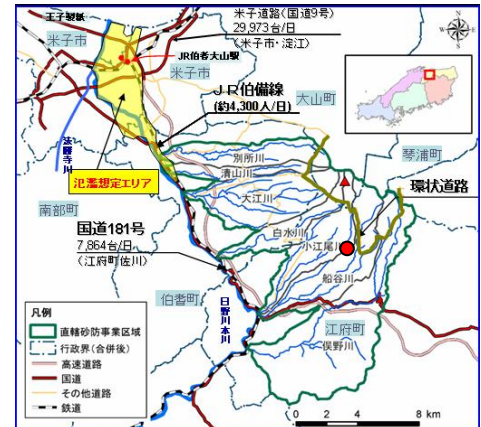
- ・三の沢砂防堰堤を設置する小江尾川は、平均河床勾配1/7で、上流部には荒廃した源頭部を抱える河川
- ・ひとたび土石流が発生すると、日野川本川に土砂が流入し、下流域に広がる米子市街及び国道9号、JRに甚大な被害を与える恐れがある。



大山山系(日野川) 直轄火山砂防事業 (須郷砂防堰堤)

1. 事業概要

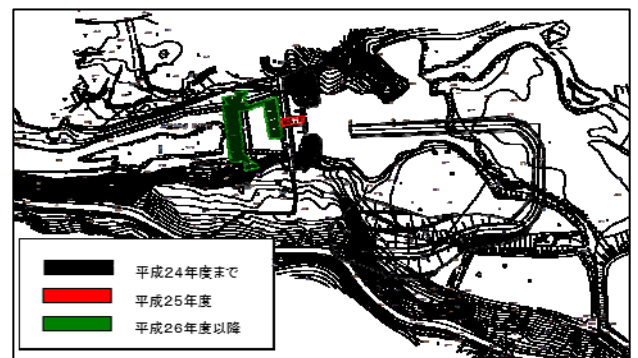
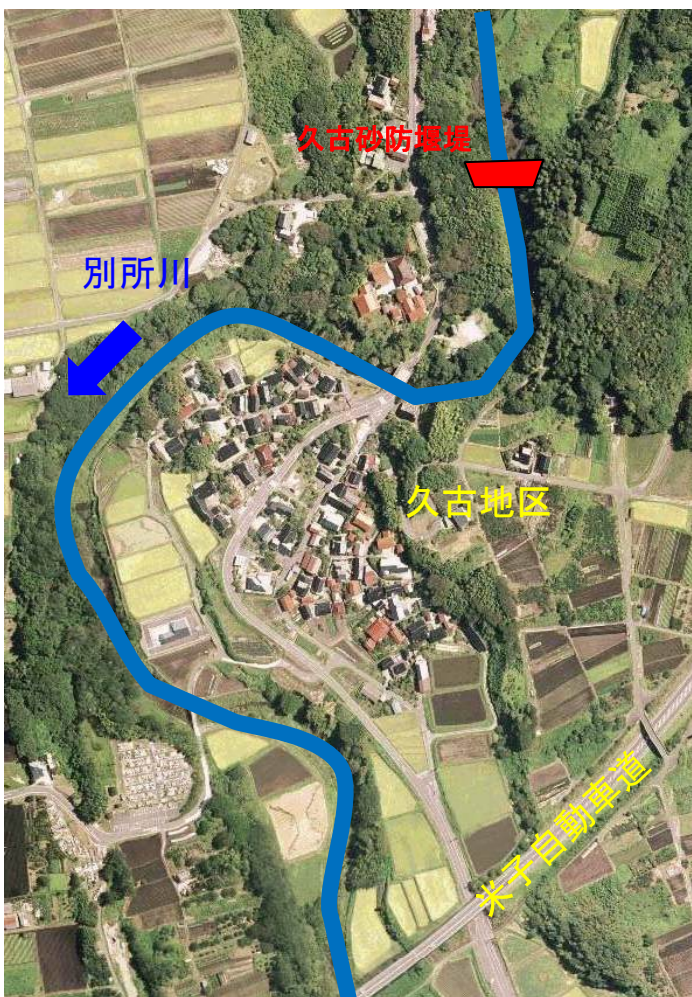
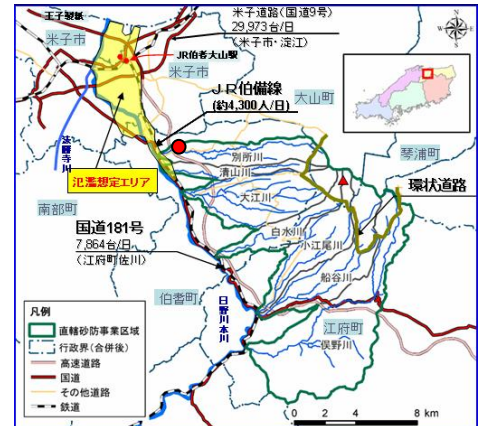
- ・須郷砂防堰堤を設置する小江尾川は、平均河床勾配1/7で、上流部には荒廃した源頭部を抱える河川
- ・ひとたび土石流が発生すると、日野川本川に土砂が流入し、下流域に広がる米子市街及び国道9号、JRに甚大な被害を与える恐れがある。



大山山系(日野川) 直轄火山砂防事業 (久古砂防堰堤)

1. 事業概要

- ・久古砂防堰堤を改良する別所川は、平均河床勾配1/8の勾配で、上流部には荒廃した源頭部を抱える河川
- ・ひとたび土石流が発生すると、日野川本川に土砂が流入し、下流域に広がる米子市街に甚大な被害を与える恐れがある。



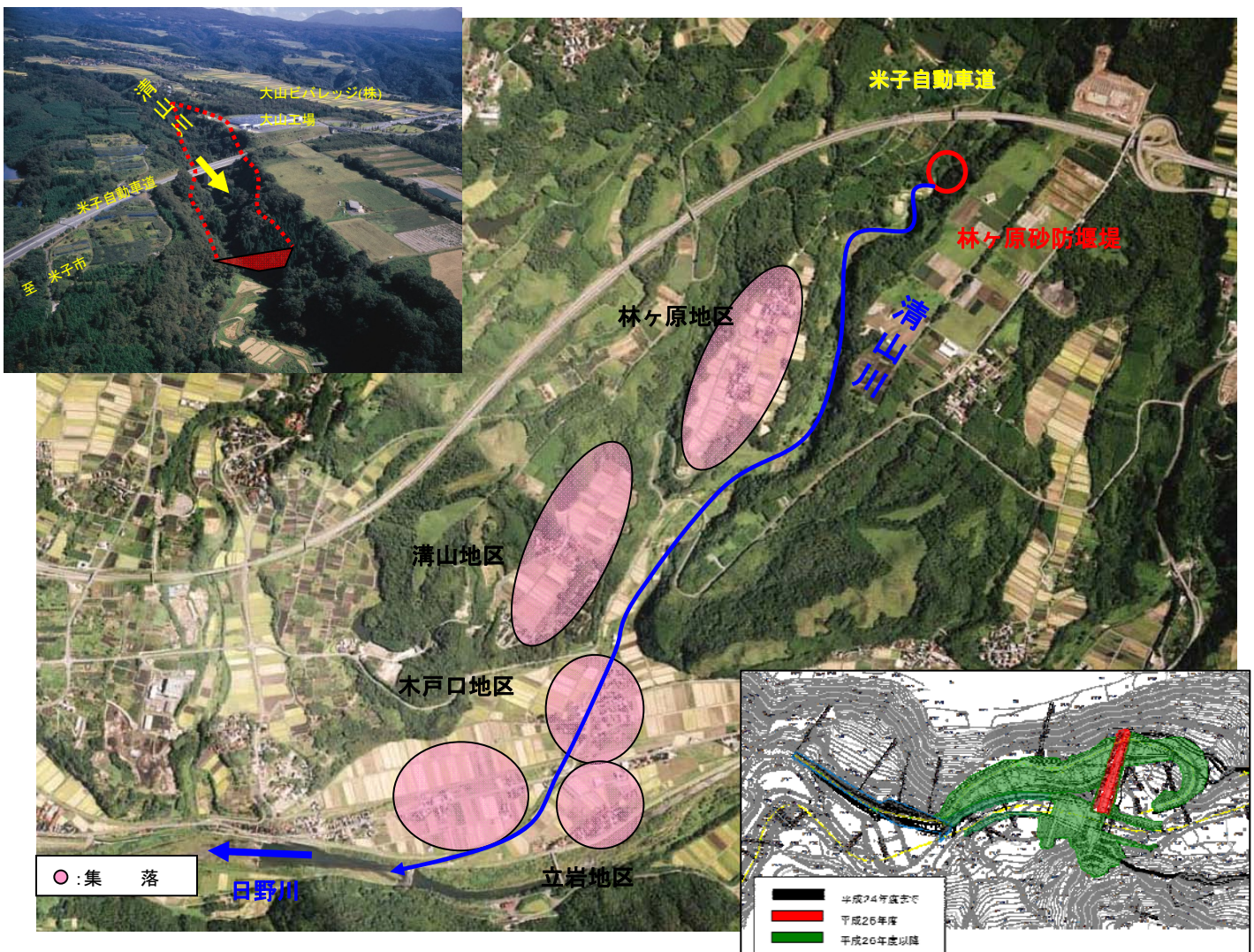
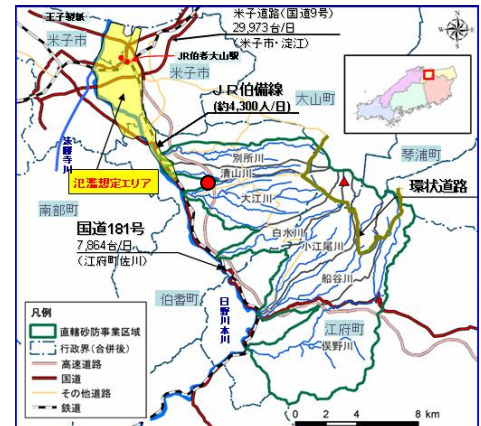
大山山系(日野川) 直轄火山砂防事業 (林ヶ原砂防堰堤)

1. 事業概要

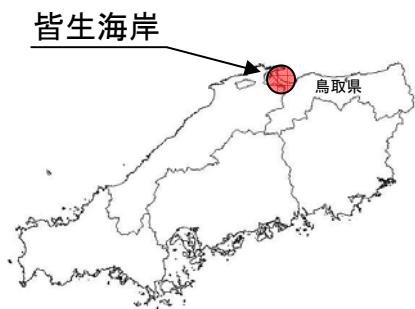
- ・林ヶ原砂防堰堤を設置する清山川は平均河床勾配1/7で、上流部には荒廃した源頭部を抱える河川
- ・ひとたび土石流が発生すると、日野川本川に土砂が流入し、下流域に広がる米子市街及び国道9号、JRに甚大な被害を与える恐れがある。

はやしがはら

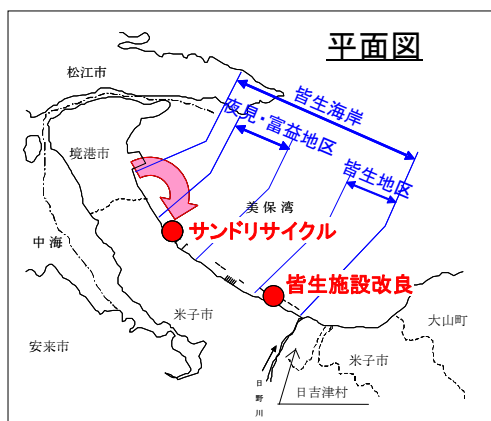
(林ヶ原砂防堰堤)



事業推進



皆生海岸の侵食対策として、皆生地区において、沖合侵食により機能低下した離岸堤の機能回復を図るため、施設改良(人工リーフ化)を実施します。また、富益地区において、侵食で移動した土砂を元の場所に戻すサンドリサイクルを実施します。



皆生地区における施設改良 (人工リーフ化)



▲サンドリサイクルにより砂浜を保全

サンドリサイクル施工前 (撮影日H25.2)



サンドリサイクル施工後 (撮影日H25.3)



▲サンドリサイクルにより砂浜を保全

施設改良の効果



期待される整備効果

- ・機能が低下している皆生地区の海岸保全施設の機能回復を図り、海岸侵食による被害を防止します。また、水平線が見渡せるなど景観改善や、波打ち際の勾配が緩くなることで海水浴等の利用がしやすくなるといった効果も期待できます。
- ・白砂青松の豊かな自然が残る富益地区において、海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

平成25年度事業の概要

境港湾・空港整備事務所

1. 港湾事業

1) 鳥取港改修事業

鳥取港における既存の港口付近での波のじょう乱による船舶の安全な航行への影響に対応して、西浜航路を新設するとともに、必要となる港内の静穏度を確保するため、防波堤(第1)の西側への延伸を実施しています。平成24年度までに、防波堤延伸総延長 300m のうち約 275m が概成しており、平成25年度は引き続き、防波堤延伸のためのケーソン据付工(堤頭函 L=25m)等を実施します。

2) 境港改修事業

境港における大型貨物船に対応した岸壁、ふ頭用地の恒常的な不足を解消するとともに、併せてふ頭の再編を行うことで在来貨物及び、将来増加する貨物需要(リサイクル貨物、企業の利用拡大等)も含めた効率的な利用を図るため、外港中野地区において、水深 12mの国際物流ターミナルの整備を実施しています。平成 25 年度は、岸壁(水深 12m)の地盤改良工、本体工等及び泊地(水深 12m)の浚渫等を実施します。

また、境港内に静穏な水域を確保し、年間を通じて効率的かつ安全な岸壁荷役に資する防波堤整備を実施しています。平成 25 年度は外港地区の防波堤(2)のケーソン据付工等及び改良(消波ブロック据付)等を実施します。

とっとり
鳥取港防波堤整備事業(国、鳥取県) 国 :事業費478百万円
鳥取県:事業費213百万円

事業推進

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路は、冬期風浪や台風等により港口付近で波のじょう乱が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

このため、西浜航路を新設するとともに、必要となる港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた岸壁荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

事業推進

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えています。

近年、山陰地方初となるリサイクルポートの指定(平成23年1月)、日本海の対岸諸国(韓国、ロシア等)の経済成長とトライアル輸送の成功等を通じ、今後の環日本海交流の発展を期待した電子部品、電気自動車工場等の新たな企業進出が相次いでおり、多様な貨物の増加が見込まれています。加えて、日本海側拠点港の選定(平成23年11月)を契機とした、更なる利便性向上のための取組みの促進も期待されています。

しかしながら、貨物量の増加や船舶大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化しており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

そのため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備するとともに、既存ふ頭の再編を行うことで、境港全体の機能強化を図ります。



期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の競争力強化、雇用の確保等に寄与します。

また、日本海側の物流機能が強化されることで、大規模地震等の被災リスクの高い瀬戸内・太平洋側地域のリダンダンシーの確保、粘り強い国土軸の形成に寄与することが期待されます。

平成25年度事業の概要

出雲河川事務所

1. 河川事業

1) 斐伊川一般河川改修事業

- 中海において、近年高潮で浸水被害を受けている境港市渡地区において湖岸堤整備を実施します。【資料編 出雲－1】
- 中海において、近年高潮で浸水被害を受けている米子市葭津地区において湖岸堤整備を実施します。
- 中海において、近年高潮で浸水被害を受けている米子市旗ヶ崎地区において湖岸堤整備を実施します。

2) 斐伊川総合水系環境整備事業

- 中海の水環境の改善を目指し、米子湾において覆砂を実施します。
【資料編 出雲－2】

3) 河川工作物関連応急対策事業費

- 中海周辺において、河川管理施設の樋門の改善を行います。

※上記の他、既存施設の機能が持続的に発揮できるよう補修、更新を実施し、戦略的な維持管理を行います。

ひ い かわ
斐伊川一般河川改修事業
（境港地区）

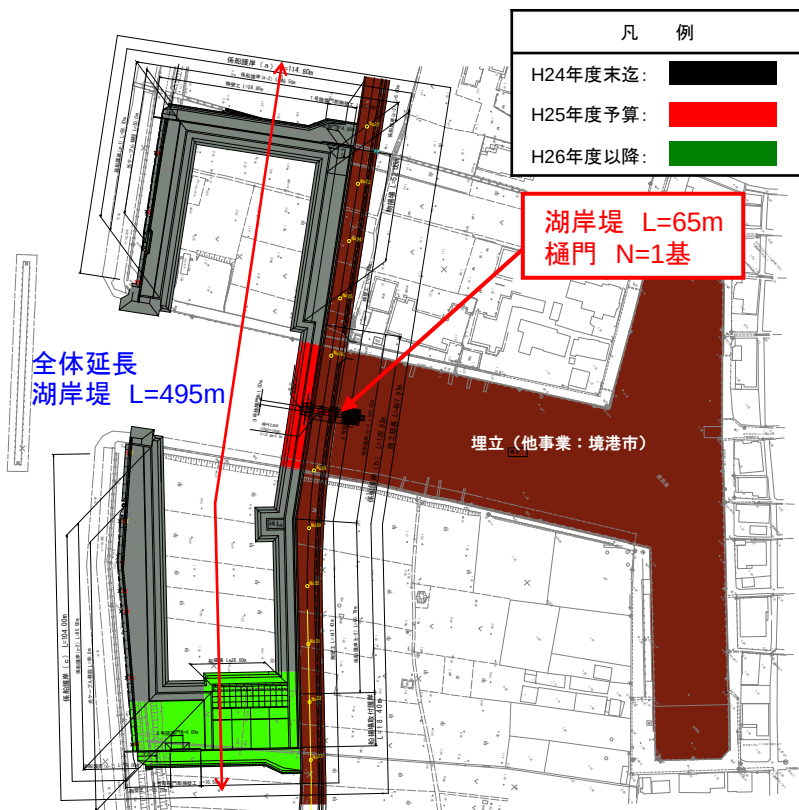
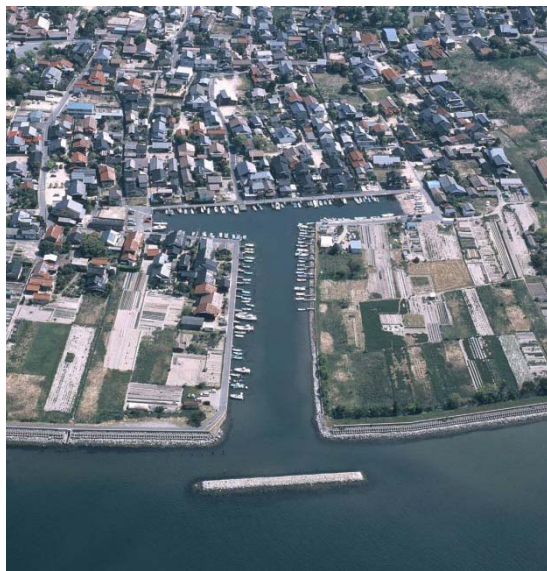
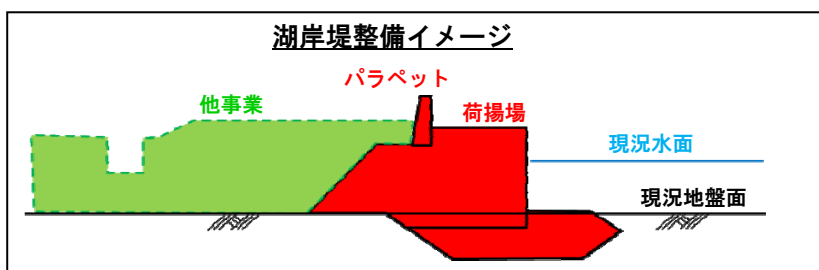
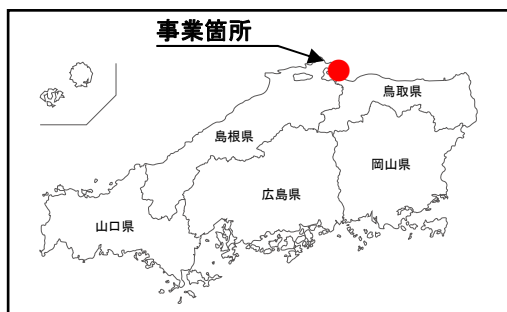
出雲-1
事業費 3, 932 百万円
※斐伊川水系全体

事業推進

【事業概要】

当該地区は、宅地の地盤高が低く湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害（H14、H15、H16）を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための湖岸堤の整備を実施しています。
平成25年度は、引き続き湖岸堤の整備・樋門整備等を実施します。



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、平成15年9月高潮（既往最高水位）が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひ い かわ
斐伊川総合水系環境整備事業
(中海・宍道湖)

出雲-2
事業費 592 百万円
※斐伊川水系全体

事業推進

【事業概要】

中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。

そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

平成25年度は、引き続き、中海においては浅場造成及び覆砂、宍道湖においては浅場造成を実施します。



宍道湖や中海の殆どが人工湖岸です。
(事例: 宍道湖のコンクリート護岸)

藻場の再生
(中海整備箇所)

整備箇所の浅場では魚介類
の増加が見られる
(中海整備箇所)

期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。

アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。